

学校だより

明治中生らしく

～笑顔で 元気に さわやかに 明治中～

令和元年11月29日
第68号
継承：「プラス1」
「キャリア教育」
「地域への貢献」
八戸市立明治中学校
文責 佐々木 敏文

思春期の親子のコミュニケーション

～三者面談を前に 子供を伸ばす褒め方～

校長 佐々木 敏文

今学期も、学区民体育祭や明中祭などの大きな行事、そして、学習面では三次考査を終えて、いよいよ師走へ向かっています。保護者の皆様・地域の皆様のご理解・ご支援をいただき、これまでの各行事、無事に終えることができたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。さて、来月5日（木）から三者面談がスタートします。今年度2回目の三者面談となりますが、学習面・部活動面・生活面等について、2学期を振り返って子どもさんの成長についてお話いただければと思います。「思春期の親子のコミュニケーション」に関する記事が雑誌に掲載されていましてご紹介いたします。

思春期の子供を伸ばす褒め方

思春期から青年期にかけて、子供は大人への階段を登っていきます。自立心、独立心も芽生え、子供扱いされることを嫌います。それと同時に未来へ漠然とした不安を抱くのもこの時期です。将来に対して明確な目的をもっている子供のほうが少なく、大抵は自分自身の進路もまだ決められない状態なので、「大人扱いされたいけど自信がない」というあやふやな精神状態にあるのが思春期です。そんな思春期の子供にはどういった褒め方が効果的でしょうか？

まずはその子の「個」をありのままに認め、可能性を信じることだと思います。「個」とは自然体の子供の有り様です。

【Point 1 タイミング良く褒め、NEXTは言わないこと】

思春期に限らず誰でも褒められることは嬉しいことだと思います。でもとってつけられたようなお世辞や頑張らせるために無理におだてるのでは意味がありません。自分が頑張っていると思っていることをタイミングよく褒めてもらうことが一番効果的なのです。タイミングというのは実はとても難しいですね。子供のことをよく見ていないと見過ごしてしまいがちです。

日々、その日にあったことを関心をもって聞き、子供が何か嬉しそうに報告したときに一緒に喜んであげる、それだけでいいのです。

例えば、テストで今までよりも良い点をとったとしたら「すごいじゃない、よく頑張ったね。一生懸命勉強したからだね」と一緒に喜んであげればよいのです。」その時に気を付けたほうがいいのは『すぐにNEXTは言わないこと』。

親というのは子供に対して高望みしがちなので、今回これだけできたらもっとできるはずと次の目標を口に出してしまうことが良くあります。褒めるのもそこそこに「もっと頑張って次はもっといい点を目指しなさい」と新たなハードルを設定してしまうと、子供としては「どこまで頑張ったら認めてもらえるのだろう」と少々げんなりしてしまうものです。

NEXTは子供自身が考えて自分で進むものです。「お母さんも喜んでくれたし、やればもっとできるかもしれないから次はもっと頑張ろう」そう子供が思うのが一番です。

【Point 2 将来の可能性を褒めること】

特に思春期の子供に効果的なのは「将来の自分を褒めてもらうこと」です。例えば「〇〇ちゃんは気が利くし優しいから将来いいお嫁さんになるね」とまわりから言われればやはり「そういう自分になりたい」と思うものです。特に男の子は女性から（クラスの女の子や先生、お母さんから）「〇〇君は、〇〇だから将来楽しみなね」と有望視されるととてもやる気が起これると思います。ここで間違っはいけないのは「親の理想」に仕立てようと思わないことです。あくまでも「個」を見て、子供自身が「自分でもちょっとそうかな？」と思っていることを口に出して褒めてあげるのがよいです。

【Point 3 照れ隠しで否定を口にしないこと】

気を付けたほうがいいのは、親の照れ隠しで子供を否定することはばかりを口にしてしまうことです。「おまえはどうせ〇〇だから、今回もまぐれだろ」とか「あなたは〇〇なんだから、どうせ無理でしょ」などなど。言わなくても本心はわかるだろうと思ってもそれは伝わらないことがほとんどです。親のひとは子供にとって（親自身）思っているより影響があります。どうせだったら子供のやる気を引き出す褒め方をしたいものですね。

3年総合学習 テーマ「いのち」～パパママ体験～

11月8日（金）、3学年が「パパママ体験学習会」を、八戸市民病院新周産期センター師長古屋敷さん、八戸市健康部健康づくり推進課保健師荒木さんを講師にお招きし行いました。

この学習会は、妊婦や育児について自ら考え、家族での協力の必要性を学び、自分自身も家族から愛され育てられた大切な命であることを実感し、これからの学校生活や長い人生を前向きに進もうとする思いを育てることを目的に行っています。

実習体験では、沐浴人形を使った抱っこや着替え、おむつ交換等、とまどいを見せ緊張しながらも楽しそうに体験していました。また、妊婦ジャケットを装着した妊婦体験では、靴下をはいたり、寝返り、歩行等日常生活でもいかに大変なのかを実感しました。

授業後の生徒の感想には、母親や家族への感謝の思いが素直に表れているものが多く、今回の授業を機に家族の思いや命の大切さ、親子の絆、今後の自分のように深く考えることができたようです。

【パパママ体験を通して】

- 今日の体験学習で、流産の率が意外と高いと思いました。なので、もっと命を大切にしていきたいと思いました。妊婦体験を通してすごく大変だなと思い、これからは女性や妊婦の方には優しく接していきたいと思いました。
- 今日はパパママ体験学習を通して、自分が無事に生まれてきたことや、今、普通に生活していることが、いくつもの奇跡を経てのことなんだと改めて実感しました。これから、自分や友達、そしてこれから出会う人たちの「いのち」を大切にしていきたいです。また、「お母さん」の大変さを知り、自分が母や父にどれほど大切にされてきたかがわかりました。自分が親になったとき、今までしてもらってきたことを子どもにあげたいです。



生徒会・常任委員会・学級役員へバトンタッチ



11月1日（金）、第2回生徒総会が行われました。生徒会長より、「各委員会が目標を発表することを機に、これから実行できるように心がけ、さらに充実した委員会活動を通して、よりより明治中学校にしていきたい。」と力強い挨拶がありました。いよいよ生徒会新役員へバトンタッチされました。また、各委員会委員長も2年生から選出され、明治中生らしく先輩から受け継いだバトンを責任をもって継承してほしいものです。

【生徒会役員】

- 会長：上野 裕章さん
- 副会長：松田明日望さん
- 副会長：大國 亜実さん
- 議長：浪岡 望月さん
- 役員：廣瀬めぐみさん
- 役員：廣瀬 達也さん
- 役員：澤向 永真さん

【常任委員会】

- 生活委員会 委員長 佐々木 ももかさん
- 学習委員会 委員長 築田 優里さん
- 環境委員会 委員長 三浦 愛花さん
- 保健委員会 委員長 高坂 菜摘さん
- 給食委員会 委員長 林 京吾さん
- 図書委員会 委員長 杉本 碧宙さん
- 放送委員会 委員長 石橋 凜貴さん

12月行事予定 ※別紙にて、詳細をお知らせしていますのでご確認ください！

★ 1日（日）…県中スポーツ競技大会（YSアリーナ）	★ 9日（月）…基礎学力コンテスト（英語）
★ 3日（火）…館地区青少協役員会	★ 11日（水）…教育課程編成会議
★ 5日（木）…三者面談～13日	★ 15日（日）…参観日：午後（弁当）
※生徒作品展（玄関前ホール・各階廊下）	★ 16日（月）…振替休業
★ 6日（金）…第2回地域学校連携協議会	★ 17日（火）…生徒朝会（壮行式）
★ 7日（土）…南部弁の日（はっち）	★ 18日（水）…委員会の日
※1学年出演（南部昔コ芝居）	★ 20日（金）…大清掃
アンサンブルコンテスト八戸地区大会（市民館）	★ 23日（月）…2学期終業式（給食あり）
※吹奏楽部出場します	